

# 建築設計事務所はじめ・最前線の実務担当者をつながる 「改正省エネ法」情報交換セミナー Zoomオンライン講座

第3回

## 「説明義務制度」にポジティブに取り組む！その3

2021年度から300㎡未満の住宅・建築物の設計時に  
建築士に課せられる義務への備え

プログラム

挨拶／環境委員会 委員長 宮崎淳

### 講義1

「改正建築物省エネ法 オンライン講座テキスト」全国配布のねらい  
国土交通省住宅局住宅生産課 上野翔平氏

### 講義2 [建築物]

設計事例を用いた「小規模版モデル建物法」ツール活用法  
同省 同課 道見聡氏・永芳宏昭氏

### 講義3 [住宅]

設計事例を用いた「モデル住宅法」簡易計算シート活用法  
同省 同課 道見聡氏・児島輝樹氏

### 講義4 [住宅]

「標準計算ルート」(JIA会員設計事例)を活用したプレゼンの提案(住宅)  
岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 辻充孝氏

質疑応答・まとめ

# 2020年12月2日(水)15:00~17:30

全国からの参加者を「Zoom」でつなぎます

定員：200名(PC200台)を予定／JIA会員に限定されません

参加費：2000円／PC1台（複数名の同室視聴可）

申込 「Peatixピーティックス」でお申込み下さい(★申込URL)  
入金確認後にZoomオンライン講座に参加するための  
アドレス及び留意事項等をメールでご連絡します

締切：2020年12月1日(火)18:00まで

★申込：(1)JIA関東甲信越支部HP (<https://www.jia-kanto.org>)

URL (2)「イベントをみる」

[https://www.jia-kanto.org/kanto/activity\\_event/](https://www.jia-kanto.org/kanto/activity_event/)

(3)「改正省エネ法」情報交換セミナー第3回(12/2)

[https://www.jia-kanto.org/kanto/activity\\_event/lecture/7215.html](https://www.jia-kanto.org/kanto/activity_event/lecture/7215.html)

(4)＜Peatixのご利用はこちら＞をクリックして入力

<https://peatix.com/event/1646855>

C P D：CPDプログラム申請中(3単位)

第1回 7/2・第2回 8/27 終了(プログラム：裏面参照)  
第3回 12/2 のポイント



シリーズ全3回で登壇の上野様からは、9月上旬に全国の建築士事務所に郵送された左図のテキストのねらいについてお話があります。講義2・3・4では、建築主への説明に欠かせない準備について、設計例をモデルにしたツールの説明や「標準計算ルート」を活用したプレゼンの提案(住宅)があります。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



JIA関東甲信越支部 環境委員会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

# 「説明義務制度」にポジティブに取り組む！その3

2021年度から300㎡未満の住宅・建築物の設計時に建築士に課せられる義務への備え

## タイムスケジュール 2020年12月2日(水)

- 14:50—テスト映像配信
- 15:00—挨拶／環境委員会 委員長 宮崎淳
- 15:10—講義1：国交省 上野翔平氏
- 15:30—講義2：同 道見聡氏・永芳宏昭氏
- 16:00—講義3：同 道見聡氏・児島輝樹氏
- 16:30—質問記入説明 (Zoom Q&A)
- 16:40—講義4：辻充孝氏※
- 17:10-17:30 質疑応答・まとめ 環境委員会 寺尾信子

### 第1回7/2終了 プログラム

- ①主催者挨拶  
環境委員会 委員長 宮崎淳
- ②改正省エネ法における説明義務制度  
国交省 上野翔平氏
- ③[住宅]義務を超えた説明・ポジティブな取り組みの意義  
(株)インテグラル 藤間明美氏
- ④[建築物]事例から見る義務を超えた説明  
・設計事務所の工夫  
環境委員会 寺尾信子

### 第2回8/27終了 プログラム

- ①主催者挨拶  
環境委員会 委員長 宮崎淳
- ②説明義務制度 最新情報  
国交省 上野翔平氏
- ③[住宅]義務を超えた説明・ポジティブな取り組みの意義  
辻充孝氏
- ④[建築物]3つの選択肢の比較  
(1)標準入力法(2)モデル建物法(3)小規模モデル建物法  
環境委員会 寺尾信子

## 辻充孝氏 (※)

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授・一級建築士

大阪芸術大学建築学科を卒業後、M s 建築設計事務所にて実務経験を積み、2001年より現職。建築計画、温熱環境の研究、講座を受け持つと同時に木造住宅や木造建築の設計に携わる。国交省スマートウェルネス住宅等推進調査事業委員。

## 適合義務より説明義務の方がより高度な能力が必要です

「モデル住宅法」の次のステップとして「標準計算ルート」を活用したプレゼン提案事例を紹介いたします。省エネ基準の評価方法は、簡単なものから「仕様ルート」「簡易計算ルート(モデル住宅法と外皮面積を計算しない方法)」「標準計算ルート」の3つがあります。初めて取り組まれる方は「モデル住宅法」から始めて、次のステップとして「標準計算ルート」をお勧めします。少し手間は増えますが、いろいろなことが設計でき、プレゼンに活用できます。

## 申込から当日までの流れ「Peatixピーティックス」でお申込み下さい

項目	内容	備考
主催者	JIA関東甲信越支部 環境委員会 mail: jiakantokankyo@gmail.com	・ 前日当日限定の緊急連絡先 TEL 03-3312-5834 (STUDIO TERAOS) TEL 048-255-2868 (Atelier Bio)
Peatix 記載内容	①メールアドレス②参加を希望します③氏名④氏名フリガナ⑤所属先⑥電話番号⑦申込代表者CPD-ID(申請希望者)⑧所属先都道府県名⑨所属先JIA会員代表者名(JIA会員事務所のみ)⑩同室聴講者名とCPD-ID(申請希望者)⑪参加費のお振込者名(カタカナ)	★本行事掲載ホームページ (1) JIA関東甲信越支部 HP トップ (https://www.jia-kanto.org/) (2) 「イベントをみる」 https://www.jia-kanto.org/kanto/activity_event/ (3) 「改正省エネ法」情報交換セミナー第3回 (12/2) https://www.jia-kanto.org/kanto/activity_event/lecture/7215.html (4) <「Peatix」のご利用はこちら>をクリックして入力。
参加費 申込締切	参加費：2000円/PC1台 申込締切：前日、12/1(火)18:00	・ 手数料：クレジットカード無料/ATM・コンビニ支払220円 ・ 1社で複数名お申込みの場合は1名ずつ(参加費2000円)お申込み下さい
受付完了後 申込者への連絡1	申込者のメールアドレスにZoomウェビナーの参加URL・パスワード送付	・ 受付後、順次ご連絡します
受付完了後 申込者への連絡2	申込者のメールアドレスに配布資料の送付	・ 開催前日(12/1)を予定しています ・ 当日映写資料からの抜粋版です
当日テスト交信 (希望者のみ)	順次、短時間のテスト交信 (14:30～14:50)	・ 受講者のパソコンやインターネット環境などの不具合により受講不能になった場合、主催者側では責任を負えません。必要に応じてテスト交信にて受講環境をご確認下さい
テスト映像配信	BGM付き動画の配信 (14:50～15:00)	・ 開始まで音量調節等を行ってお待ち下さい
当日本番	15:00～17:30 (司会：新井かおり)	・ 本番中の交信に関する問合せには対応できないことをご理解下さい
終了時 (退出時)	アンケートにご協力ください	・ Zoomウェビナー退出時に自動的にアンケート画面が出ます

## オンライン講座参加 (Zoomウェビナー利用) にあたっての留意事項

- ・ 参加申込受付後にお送りしたURL、パスワードから、Zoomウェビナーに参加して下さい。
- ・ 受講者の出欠確認のため、Zoomウェビナー参加にあたって入力する名前は申込者と同じ名前として下さい。氏名表記は、フルネームでお願いします。例：山田花子 (漢字等、日本語としてください)
- ・ 受講者の方のマイクのミュート設定は主催者側でON・OFFさせて頂きます。
- ・ 講座内容全体を主催者側が録音、録画致します。発言されるにあたっては、そのことをお含みおき下さい。
- ・ 受講者側でのセミナーの録音、録画はご遠慮下さい。

第3回から初参加の方にも無理なく聴講頂ける内容構成です。奮ってご参加下さい！

お問合せ ▶ JIA 関東甲信越支部 環境委員会 (本セミナー主催者)

mail: jiakantokankyo@gmail.com

本行事掲載 HP その2 ▶ http://www.jia.or.jp/ (JIA ホームページ「イベント情報」)



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



JIA関東甲信越支部 環境委員会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています